

令和7年度 盛岡第二高等学校教職員 働き方改革アクションプラン ～白梅教職員生き生きプラン R7～

盛岡二高では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の者
・R6年度:9人(参考:R4年度:2人、R5年度:5人)
- ◆ 年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数)
・R6年度:14.7日(参考:R4年度:12.0日、R5年度:14.5日)

【定性的現状】

- 教職員の意識
・当校で推進するICT活用の取組が全教職員に徹底されている。
・時間外勤務している教職員が固定化している。
- 管理職のマネジメント
・スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員一人当たりの平均時間外在校等時間を38時間とすることを目指します。
- 年次休暇の平均取得日数を15日にします。

【目指す姿】

- ・ こどもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・ 教職員一人一人が、いきいきと業務に取り組んでいる。
- ・ 教職員が、家庭のための時間や自由時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・ 管理職が、振替・年次のについて積極的に呼びかけを行います。・ 教職員が連携して業務に当たり、特定の教職員に負担が偏ることのないよう心がけます。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・ ICTを活用して授業の質を高めるとともに、教師間、家庭・学校間での連絡や各種アンケートなどもよりスムーズに行うことができるようにし、業務の軽減を図ります。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・ アクションプランについて、保護者や地域の方にご理解いただけるよう、HPIに掲載します。・ 課外活動については目標を確認し、生徒が主体的に取り組めるよう内容を精選します。
令和7年度 重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">・ 令和7年度は、スクラップアンドビルドの視点から業務削減に取り組めます。

4 アクションプランの周知方法

- ・ 働き方改革アクションプランを学校のHPに掲載し、学校以外の方々にも理解していただきます。
- ・ 本校PTAや白梅振興会の会議や活動を通じて、地域・保護者に対してプランの内容説明を行います。